

はじめに

この度は、パプロフ簿記の模擬試験をご利用いただきありがとうございます。
模擬試験は、2024年6月167回試験以降の統一試験（紙の試験）対策として作成しています。なお、ネット試験対策は、ネット試験の模擬問題をお使いください。

模擬試験に関する質問や問い合わせは、こちらまでお願いします。

<https://pboki.com/>

2024年4月 模擬試験 2024年度版を公開

willsi 株式会社

日商簿記 3 級 模擬試験 2024① 制限時間 60 分**第1問 (45点)**

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適当と思われるものを選び、答案用紙の () 内に記号で解答すること。なお、消費税は指示された問題のみ考慮すること。

- 取引銀行から借り入れていた¥1,000,000の支払期日が到来したため、元利合計を当座預金口座から返済した。なお、借入れにともなう利率は年2.19%であり、借入期間は180日であった。利息は1年を365日として日割計算する。
ア. 現金 イ. 普通預金 ウ. 当座預金 エ. 受取利息
オ. 支払利息 カ. 貸付金 キ. 借入金 ク. 手形借入金
- 従業員が出張から帰社し、旅費の精算を行ったところ、あらかじめ概算額で仮払いしていた¥100,000では足りず、不足額¥20,000を従業員が立替払いしていた。なお、この不足額は次の給料支払い時に従業員へ支払うため、未払金として計上した。
ア. 現金 イ. 給料 ウ. 旅費交通費 エ. 従業員立替金
オ. 仮払金 カ. 仮受金 キ. 未払金 ク. 預り金
- かねて振り出していた約束手形¥372,000が当座預金口座から決済された。
ア. 現金 イ. 普通預金 ウ. 当座預金 エ. 支払手形
オ. 受取手形 カ. 手形貸付金 キ. 手形借入金 ク. 電子記録債務
- 小切手¥100,000を振り出し、現金を引き出した。
ア. 現金 イ. 支払手形 ウ. 手形借入金 エ. 手形貸付金
オ. 受取手形 カ. 当座預金 キ. 普通預金 ク. 仮受金
- 株式会社北海道商事に対する売掛金¥265,000について、同社の承諾後、電子記録債権が発生した。
ア. 売上 イ. 仕入 ウ. 売掛金 エ. 買掛金
オ. 電子記録債務 カ. 電子記録債権 キ. 支払手形 ク. 受取手形
- 株式会社関東システムは増資を行うこととなり、1株当たり¥40,000で株式を新たに200株発行し、出資者より当社の当座預金口座に払込金が振り込まれた。発行価額の全額を資本金とする。
ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 現金 エ. 繰越利益剰余金
オ. 資本金 カ. 借入金 キ. 仮受金 ク. 預り金
- 仕入勘定において算定された売上原価¥3,100,000を損益勘定に振り替えた。
ア. 仕入 イ. 売上 ウ. 繰越利益剰余金 エ. 損益
- 商品¥29,000を売り上げ、代金のうち¥20,000は共通商品券で受け取り、残りは現金で受け取った。
ア. 仕入 イ. 売上 ウ. 買掛金 エ. 売掛金
オ. 現金 カ. 当座預金 キ. 受取手形 ク. 受取商品券

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
4	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
5	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
6	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
7	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
8	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

9. 当月分の従業員給料総額¥5,800,000 から社会保険料¥725,000、および所得税¥431,000 を控除した残額を現金で支払った。

- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 法定福利費 エ. 社会保険料預り金
オ. 所得税預り金 カ. 租税公課 キ. 給料 ク. 立替金

10. 新店舗を開設する目的で、土地 185 m²を 1 m²あたり¥40,000 で購入し、購入手数料¥200,000 を含む代金の金額を後日支払うこととした。また、この土地の整地費用¥100,000 を現金で支払った。

- ア. 現金 イ. 買掛金 ウ. 未払金 エ. 支払手形
オ. 土地 カ. 支払手数料 キ. 未収入金 ク. 当座預金

11. 一日分の売上の仕訳を行うにあたり、集計結果は次のとおりであった。また、合計代金のうち¥8,800 はクレジットカード、残りは現金による決済であった。当社は消費税の処理方法として税抜方式を採用している。

売上集計表			
XX01年7月5日			
品物	数量	単価	金額
いちごのショートケーキ	30	400	¥ 12,000
チョコレートケーキ	20	400	¥ 8,000
モンブラン	15	500	¥ 7,500
フルーツタルト	25	500	¥ 12,500
消費税			¥ 4,000
合計			¥ 44,000

- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 買掛金 エ. クレジット売掛金
オ. 仕入 カ. 売上 キ. 仮払消費税 ク. 仮受消費税

12. 東京物産株式会社へ¥2,000,000 を貸し付け、利息¥40,000 を控除し、残額は小切手を振り出して渡した。

- ア. 借入金 イ. 貸付金 ウ. 手形借入金 エ. 手形貸付金
オ. 受取利息 カ. 支払利息 キ. 現金 ク. 当座預金

13. つり銭を用意するため、現金を銀行で両替し、手数料として¥400 を現金で支払った。

- ア. 当座預金 イ. 現金 ウ. 支払利息 エ. 受取手数料
オ. 租税公課 カ. 仕入 キ. 受取利息 ク. 支払手数料

14. X06年2月1日に取得した備品（取得原価：¥360,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：8年、定額法により償却、間接法により記帳）が不要になったので、X09年8月31日に¥100,000 で売却し、代金については翌月末に受け取ることにした。なお、当期の決算日はX10年3月31日であり、減価償却費は月割りで計算する。

- ア. 機械装置 イ. 減価償却累計額 ウ. 未払金 エ. 減価償却費
オ. 未収入金 カ. 固定資産売却益 キ. 備品 ク. 固定資産売却損

15. 商品（本体価格¥700,000）を仕入れ、代金は10%の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税については、税抜方式で記帳する。

- ア. 現金 イ. 売掛金 ウ. 受取手形 エ. 仮受消費税
オ. 買掛金 カ. 仕入 キ. 売上 ク. 仮払消費税

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
9	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
10	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
11	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
12	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
13	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
14	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
15	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

第2問 (20点)

(1) 広島株式会社のX08年10月の取引は次のとおりである。これらにもとづいて、それぞれの日付の取引が、解答欄に示したどの補助簿に記入されるか、解答欄に○印を付しなさい。

- 9日 鳥取商店から商品¥120,000を仕入れ、代金のうち¥100,000については約束手形を振り出し、残額は掛けとした。なお、引取運賃¥3,000については現金で支払った。
- 12日 かねて岡山商店から仕入れていた商品¥50,000について不良品が見つかったため返品し、掛代金から差し引くこととした。
- 20日 先月に山口商店より建物¥2,000,000と土地4,000,000を購入する契約をしていたが、本日その引渡しを受けた。この引渡しにともない、購入代金のうち¥1,000,000は契約時に仮払金勘定で処理していた手付金を充当し、残額は当座預金口座から振り込んだ。
- 25日 島根商店から先月受け取った約束手形¥180,000の支払期日が到来し、同額が当社の普通預金口座へ振り込まれた。
- 30日 仕入先大阪商店に対する先月の掛代金¥89,000について、小切手を振り出して支払った。

(2) 次の〔資料〕7月中の取引等にもとづいて、下記の間1、間2に答えなさい。

〔資料〕7月中の取引等

7月1日	前月繰越	70個	@¥3,200
10日	仕入	100個	@¥3,100
15日	売上	120個	@¥4,700
20日	仕入	150個	@¥3,300
26日	売上	140個	@¥4,600
30日	売上返品	10個	26日に売り上げた商品のうち10個が返品された。

問1 A商品の商品有高帳を作成しなさい。商品の払出単価の決定方法は先入先出法を採用し、摘要欄には上記〔資料〕の語句を記入すること。なお、30日の売上返品については、20日に仕入れた商品10個であると考え、受入欄に記入すること。

問2 7月のA商品の純売上高、売上原価および売上総利益を答えなさい。

(1)

帳簿 日付		現金 出納帳	当座預金 出納帳	商品有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳	固定資産 台帳
10	9										
	12										
	20										
	25										
	30										

(2)

問1

商品有高帳

A 商品

X8年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7	1 前月繰越									
	10 仕入									
	15 売上									
	20 仕入									
	26 売上									
	30 売上返品									
	31 次月繰越									

問2 純売上高 ¥ _____
 売上原価 ¥ _____
 売上総利益 ¥ _____

第3問 (35点)

当社の[資料]にもとづいて、下記の各問に答えなさい。会計期間はX05年4月1日からX06年3月31日までの1年間である。

[資料1] 決算整理前残高試算表

借方	勘定科目	貸方
435,200	現金	
2,000	現金過不足	
4,938,900	普通預金	
2,355,000	売掛金	
1,550,000	電子記録債権	
2,462,500	仮払消費税	
315,000	繰越商品	
2,400,000	備品	
	買掛金	1,635,000
	電子記録債務	1,248,000
	仮受消費税	3,828,000
	貸倒引当金	65,000
	借入金	3,000,000
	備品減価償却累計額	720,000
	資本金	2,000,000
	繰越利益剰余金	1,619,500
	売上	38,280,000
23,349,000	仕入	
10,760,000	給料	
1,614,000	法定福利費	
297,500	福利厚生費	
367,000	通信費	
426,400	水道光熱費	
840,000	支払家賃	
271,000	租税公課	
12,000	支払利息	
52,395,500		52,395,500

[資料2] 決算整理事項その他

- 現金過不足¥2,000のうち、¥1,600は通信費の記入漏れであった。残額は原因不明のため、適切に処理した。
- 売掛金と電子記録債権の期末残高に対して2%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
- 商品の期末棚卸高は¥225,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
- 購入時に費用処理した収入印紙の未使用高が¥42,000であるため、適切な勘定へ振り替える。

5. 消費税は税抜方式で記帳しており、必要な処理を行う。
6. 備品について、定額法（耐用年数は10年、残存価額はゼロ）により、減価償却を行う。
7. 決算整理前残高試算表の支払家賃¥840,000は14か月分であるため、2か月分を前払い計上する。
8. 借入金はX05年12月1日に借入期間1年、利率年6%の条件で借り入れたものであり、利息は返済期日に元金とともに一括して支払うことになっている。当期末までの利息を月割により未払い計上する。
9. 未払法人税等¥30,000を計上する。

問1 解答欄の決算整理後残高試算表を完成しなさい。

問2 当期純利益または当期純損失の金額を答えなさい。なお、当期純損失の場合は金額の頭に△を付すこと。

問 1

決算整理後残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
4,938,900	普 通 預 金	
2,355,000	売 掛 金	
1,550,000	電 子 記 録 債 権	
	繰 越 商 品	
	貯 蔵 品	
	() 家 賃	
2,400,000	備 品	
	買 掛 金	1,635,000
	電 子 記 録 債 務	1,248,000
	() 消 費 税	
	() 利 息	
	未 払 法 人 税 等	
	貸 倒 引 当 金	
	借 入 金	3,000,000
	備品減価償却累計額	
	資 本 金	2,000,000
	繰越利益剰余金	
	売 上	38,280,000
	仕 入	
10,760,000	給 料	
	法 定 福 利 費	
	福 利 厚 生 費	
	通 信 費	
426,400	水 道 光 熱 費	
	支 払 家 賃	
	租 税 公 課	
	減 価 償 却 費	
	貸倒引当金繰入	
	支 払 利 息	
	雑 ()	
	法 人 税 等	

問 2 (¥)

第1問 (45点)

配点：各3点×15

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	キ オ	1,000,000 10,800	ウ	1,010,800
2	ウ	120,000	オ キ	100,000 20,000
3	エ	372,000	ウ	372,000
4	ア	100,000	カ	100,000
5	カ	265,000	ウ	265,000
6	ア	8,000,000	オ	8,000,000
7	エ	3,100,000	ア	3,100,000
8	ク オ	20,000 9,000	イ	29,000
9	キ	5,800,000	エ オ ア	725,000 431,000 4,644,000
10	オ	7,700,000	ウ ア	7,600,000 100,000
11	エ ア	8,800 35,200	カ ク	40,000 4,000
12	イ	2,000,000	オ ク	40,000 1,960,000
13	ク	400	イ	400
14	イ エ オ ク	142,500 18,750 100,000 98,750	キ	360,000
15	カ ク	700,000 70,000	オ	770,000

第2問 (20点)

(1)

配点：一行すべて正解につき2点×5

帳簿 日付	現金 出納帳	当座預金 出納帳	商品有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳	固定資産 台帳
10 9	○		○		○	○			○	
12			○		○	○				
20		○								○
25								○		
30		○			○					

(2)

問1

配点：各2点×5

商品有高帳

A 商品

X8年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7 1	前月繰越	70	3,200	224,000				70	3,200	224,000
10	仕入	100	3,100	310,000				70	3,200	224,000
								100	3,100	310,000
15	売上				70	3,200	224,000	50	3,100	155,000
					50	3,100	155,000			
20	仕入	150	3,300	495,000				50	3,100	155,000
								150	3,300	495,000
26	売上				50	3,100	155,000	60	3,300	198,000
					90	3,300	297,000			
30	売上返品	10	3,300	33,000				70	3,300	231,000
31	次月繰越				70	3,300	231,000			
		330		1,062,000	330		1,062,000			

問2	純売上高	¥	1,162,000
	売上原価	¥	798,000
	売上総利益	¥	364,000

第3問 (35点)

問1：各2点×16

(勘定科目と金額が一致して2点)

問2：3点

問1

決算整理後残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
435,200	現 金	
4,938,900	普 通 預 金	
2,355,000	売 掛 金	
1,550,000	電 子 記 録 債 権	
225,000	繰 越 商 品	
42,000	貯 蔵 品	
120,000	(前 払) 家 賃	
2,400,000	備 品	
	買 掛 金	1,635,000
	電 子 記 録 債 務	1,248,000
	(未 払) 消 費 税	1,365,500
	(未 払) 利 息	60,000
	未 払 法 人 税 等	30,000
	貸 倒 引 当 金	78,100
	借 入 金	3,000,000
	備品減価償却累計額	960,000
	資 本 金	2,000,000
	繰越利益剰余金	1,619,500
	売 上	38,280,000
23,439,000	仕 入	
10,760,000	給 料	
1,614,000	法 定 福 利 費	
297,500	福 利 厚 生 費	
368,600	通 信 費	
426,400	水 道 光 熱 費	
720,000	支 払 家 賃	
229,000	租 税 公 課	
240,000	減 価 償 却 費	
13,100	貸 倒 引 当 金 繰 入	
72,000	支 払 利 息	
400	雑 (損)	
30,000	法 人 税 等	
50,276,100		50,276,100

問2 (¥ 70,000)

模擬試験 2024① 解説

問題を解く順番は、配点が大きい第1問と第3問を先に解きましょう。 第1問→第3問→第2問

	採点結果 / 配点	解答時間 / 目標
第1問	点 / 45点	分 / 15分
第2問	点 / 20点	分 / 18分
第3問	点 / 35点	分 / 27分
合計	点 / 100点	分 / 60分

第1問 仕訳問題

1. 借入金の返済

①借入金を返済したので、借入金が減る。左に借入金と書く。	借入金 1,000,000 /
②支払利息が増えるので、左に支払利息と書く。 $1,000,000 \times 2.19\% \times 180 \text{日} \div 365 \text{日} = 10,800$	借入金 1,000,000 / 支払利息 10,800
③当座預金が減るので、右に当座預金と書く。 $1,000,000 + 10,800 = 1,010,800$	借入金 1,000,000 / 当座預金 1,010,800 支払利息 10,800

2. 旅費交通費の精算

①旅費の金額が確定したので、旅費交通費を増やす。左に旅費交通費と書く。 $100,000 + 20,000 = 120,000$	旅費交通費 120,000 /
②仮払金を取り崩すので、右に仮払金を書く。不足額は未払金として計上したので、右に未払金を書く。	旅費交通費 120,000 / 仮払金 100,000 未払金 20,000

3. 支払手形の決済

①当社が「振り出していた約束手形」は支払手形である。支払手形が決済されたので、支払手形が減る。左に書く。	支払手形 372,000 /
②当座預金が減るので、右に書く。	支払手形 372,000 / 当座預金 372,000

4. 当座預金口座の現金の引き出し

①小切手を振り出したので、当座預金が減る。右に書く。	/ 当座預金 100,000
②現金を引き出したので、現金が増える。左に書く。	現金 100,000 / 当座預金 100,000

5. 電子記録債権の発生

①売掛金を電子記録債権に振り替える。売掛金が減るので、右に書く。	/ 売掛金 265,000
②電子記録債権が増えるので、左に書く。	電子記録債権 265,000 / 売掛金 265,000

6. 増資

①増資によって、発行価額の全額を資本金とするので、右に資本金と書く。資本金が増える。 @40,000×200株=8,000,000	/ 資本金 8,000,000
②払込金は当座預金に振り込まれたので、左に当座預金と書く。当座預金が増える。	当座預金 8,000,000 / 資本金 8,000,000

7. 費用の損益振替

①仕入 3,100,000 を損益に振り替えるため、仕入 3,100,000→0にする。右に仕入と書く。	/ 仕入 3,100,000
②反対側に損益を書く。	損益 3,100,000 / 仕入 3,100,000

8. 売上と受取商品券

①商品を売り上げたので、右に売上と書く。	/ 売上 29,000
②共通商品券を受け取ったので、受取商品券が増える。左に受取商品券と書く。	受取商品券 20,000 / 売上 29,000
③残りは現金で受け取ったので、現金が増える。左に現金と書く。 29,000-20,000=9,000	受取商品券 20,000 / 売上 29,000 現金 9,000

9. 給料の支払いと源泉徴収

①給料を支払うので、給料が増える。左に書く。	給料 5,800,000 /
②社会保険料と所得税を源泉徴収したので、社会保険料預り金と所得税預り金が増える。右に書く	給料 5,800,000 / 社会保険料預り金 725,000 所得税預り金 431,000
③残額を現金で支払ったので、現金が減る。右に現金と書く。 5,800,000-725,000-431,000=4,644,000	給料 5,800,000 / 社会保険料預り金 725,000 所得税預り金 431,000 現金 4,644,000

10. 土地の購入

①土地を購入したので、土地が増える。左に書く。購入手数料は付随費用なので、土地の取得原価に含める。 @40,000×185㎡+200,000+100,000 =7,700,000	土地 7,700,000 /
②土地の代金（購入代価と購入手数料）は後日支払うので、未払金が増える。右に書く。 @40,000×185㎡+200,000=7,600,000	土地 7,700,000 / 未払金 7,600,000
③整地費用は現金で支払ったので、右に現金と書く。	土地 7,700,000 / 未払金 7,600,000 現金 100,000

15. 仕入と消費税

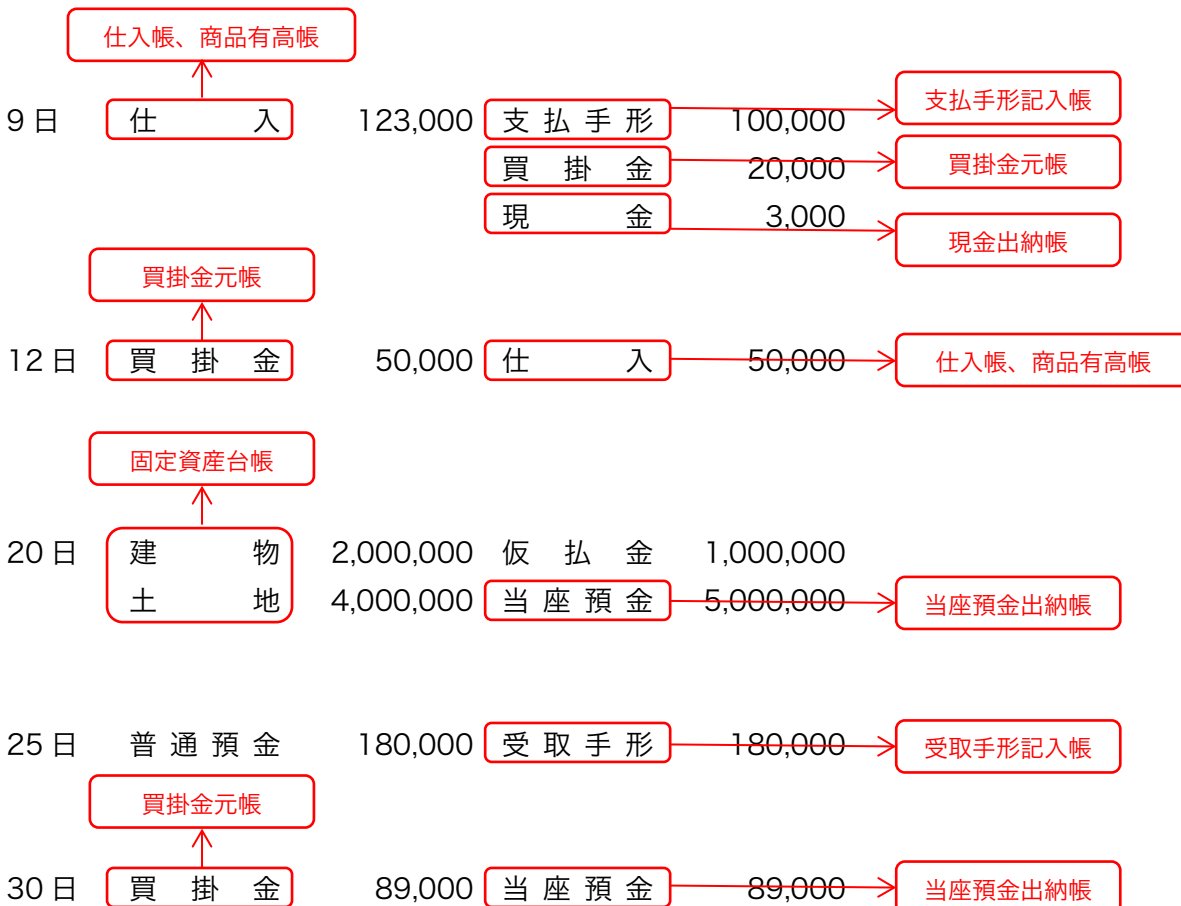
①商品を買入れたので、左に仕入と書く。	仕入 700,000 /
②消費税を支払ったので、左に仮払消費税と書く。 700,000×10%=70,000	仕入 700,000 / 仮払消費税 70,000
③代金は掛けとしたので、右に買掛金と書く。 700,000+70,000=770,000	仕入 700,000 / 買掛金 770,000 仮払消費税 70,000

第2問 (1) 補助簿の選択問題

ステップ1 解答欄を見て、どの補助簿があるかを確認し、下書きに仕訳を書きます。

9日	仕入	123,000	支払手形	100,000
			買掛金	20,000
			現金	3,000
12日	買掛金	50,000	仕入	50,000
20日	建物	2,000,000	仮払金	1,000,000
	土地	4,000,000	当座預金	5,000,000
25日	普通預金	180,000	受取手形	180,000
30日	買掛金	89,000	当座預金	89,000

ステップ2 仕訳を見ながら、解答欄の補助簿に○を付けます。なお、25日の普通預金は、当座預金ではありませんので、当座預金出納帳に記帳しない点に注意が必要です。



(2) 商品有高帳の問題

ステップ1 問1の商品有高帳を先入先出法で作成します。仕訳を書く必要はありません。

売上のとき [資料] に書いてあるのは売価（販売単価）なので、商品有高帳を書くさいには使わないので注意しましょう。

売上返品については、問題文の指示がありますので、指示に従って「受入欄」に記入します。20日に仕入れた商品を26日に売り上げ、それが30日に返品されてきたので@¥3,300で受け入れます。

ステップ2 問2の純売上高、売上原価、売上総利益を計算します。

①純売上高

純売上高とは、売上高から売上返品を引いた金額です。

売上高を計算するときには、[資料]の売上のところに書かれている売価（販売単価）です。

総売上高	15日	120個×@4,700=	564,000
	26日	140個×@4,600=	644,000
△売上返品	30日	△10個×@4,600=	△46,000
<hr/>			
純売上高			1,162,000

②売上原価

売上原価を計算するときには、30日の売上返品をマイナスする点を忘れないように注意しましょう。金額は商品有高帳の33,000を使います。

売上原価	15日	224,000+155,000=	379,000
	26日	155,000+297,000=	452,000
	30日	△33,000=	△33,000
<hr/>			
合計			798,000

③売上総利益

売上総利益とは、純売上高から売上原価を引いた金額です。

純売上高 1,162,000－売上原価 798,000＝**364,000**

第3問 決算整理後残高試算表

ステップ1 下書きに決算整理事項の仕訳を書きます。

1. 現金過不足

[資料1]をみると現金過不足が借方2,000あるので、これを全額取り崩します。右に現金過不足と書きます。記入漏れの通信費を計上するので、左に通信費と書きます。差額が左側なので、雑損を使います。

2. 貸倒引当金の繰り入れ

下書きを書き、貸倒引当金繰入の金額を求めます。

要引当額			
売掛金	2,355,000×2%=47,100	}	78,100
電子記録債権	1,550,000×2%=31,000		
	繰入+13,100		
貸倒引当金	65,000	→	78,100

3. 売上原価

「しーくりくりしー」の決算整理仕訳を書きます。期首商品有高は、[資料1]繰越商品315,000を使います。

4. 貯蔵品への振り替え

購入時に費用処理した収入印紙が未使用だったので、租税公課を減らし、貯蔵品を増やします。

5. 消費税の確定

[資料1]の仮払消費税と仮受消費税を取り崩します。差額が右側なので、未払消費税を使います。

<仕訳>

1.	通 信 費	1,600	現 金 過 不 足	2,000
	雑 損	400		
2.	貸 倒 引 当 金 繰 入	13,100	貸 倒 引 当 金	13,100
3.	仕 入	315,000	繰 越 商 品	315,000
	繰 越 商 品	225,000	仕 入	225,000
4.	貯 蔵 品	42,000	租 税 公 課	42,000
5.	仮 受 消 費 税	3,828,000	仮 払 消 費 税	2,462,500
			未 払 消 費 税	1,365,500

<仕訳>

6.	減価償却費	240,000	備品減価償却累計額	240,000
7.	前払家賃	120,000	支払家賃	120,000
8.	支払利息	60,000	未払利息	60,000
9.	法人税等	30,000	未払法人税等	30,000

ステップ2 [資料1]の金額を決算整理後残高試算表の横に書き写します。最初から金額は記入されている部分は飛ばして、空欄の部分に書き写します。[資料1]にあった現金過不足、仮払消費税、仮受消費税は、最終的に借方と貸方に同額が計上され、決算整理後残高試算表では消えます。

決算整理後残高試算表

借方	勘定科目	貸方
435,200	現金	
4,938,900	普通預金	
2,355,000	売掛金	
1,550,000	電子記録債権	
315,000	繰越商品	
	貯蔵品	
	() 家賃	
2,400,000	備品	
	買掛金	1,635,000
	電子記録債務	1,248,000
	() 消費税	
	() 利息	
	未払法人税等	
	貸倒引当金	65,000
	借入金	3,000,000
	備品減価償却累計額	720,000
	資本金	2,000,000
	繰越利益剰余金	1,619,500
	売上	38,280,000
23,349,000	仕入	
	給料	
1,614,000	法定福利費	
297,500	福利厚生費	
367,000	通信費	
426,400	水道光熱費	
840,000	支払家賃	
271,000	租税公課	
	減価償却費	
	貸倒引当金繰入	
12,000	支払利息	
	雑()	
	法人税等	

ステップ3 下書きの仕訳を解答欄の決算整理後残高試算表の横に書き写します。同時に、勘定科目の空欄の部分を記入します。

決算整理後残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
435,200	現 金	
4,938,900	普 通 預 金	
2,355,000	売 掛 金	
1,550,000	電 子 記 録 債 権	
315,000+225,000	繰 越 商 品	+315,000
+42,000	貯 蔵 品	
+120,000	(前 払) 家 賃	
2,400,000	備 品	
	買 掛 金	1,635,000
	電 子 記 録 債 務	1,248,000
	(未 払) 消 費 税	+1,365,500
	(未 払) 利 息	+60,000
	未 払 法 人 税 等	+30,000
	貸 倒 引 当 金	65,000+13,100
	借 入 金	3,000,000
	備品減価償却累計額	720,000+240,000
	資 本 金	2,000,000
	繰越利益剰余金	1,619,500
	売 上	38,280,000
23,349,000+315,000	仕 入	+225,000
10,760,000	給 料	
1,614,000	法 定 福 利 費	
297,500	福 利 厚 生 費	
367,000+1,600	通 信 費	
426,400	水 道 光 熱 費	
840,000	支 払 家 賃	+120,000
271,000	租 税 公 課	+42,000
+240,000	減 価 償 却 費	
+13,100	貸 倒 引 当 金 繰 入	
12,000+60,000	支 払 利 息	
+400	雑 (損)	
+30,000	法 人 税 等	

ステップ4 問1の決算整理後残高試算表を埋めます。左と右のメモ書きから、残高(借方と貸方の金額の差額)を計算して記入します。

借方	勘定科目	貸方
435,200	現金	
4,938,900	普通預金	
2,355,000	売掛金	
1,550,000	電子記録債権	
315,000+225,000	繰越商品	+315,000
315,000+225,000-315,000		

ステップ5 問2の当期純利益または当期純損失を計算します。ステップ4で完成した問1の決算整理後残高試算表の金額を使って、収益、費用、当期純利益を計算します。

当期純利益 収益 38,280,000 - 費用 38,210,000 = 70,000

収益	売上	38,280,000	38,280,000
費用	仕入	23,439,000	
	給料	10,760,000	
	法定福利費	1,614,000	
	福利厚生費	297,500	
	通信費	368,600	
	水道光熱費	426,400	
	支払家賃	720,000	
	租税公課	229,000	
	減価償却費	240,000	
	貸倒引当金繰入	13,100	
	支払利息	72,000	
	雑損	400	
	法人税等	30,000	38,210,000
	当期純利益		